

h30 製図試験.com 合格マニュアル

ver.2018/01/18

index

- はじめに
- 製図試験 com 試験攻略 3 つのコンセプト
- 合格力とは何かー必要な 3 つの力
- 学習効率化ー5 つの学習ポイント
- Cf:製図試験 com 学習アイテム群について
- 製図試験 com インフォメーション



はじめに

製図試験.com は常にバージョンアップしています。h29 の総括をバネに 30 ヶ所以上の変更を行いました。大きな変更は、次の 5 点です。①これまでの通信添削を止めオンライン添削と課題教材販売に変更 ②メンバーズサイトを止め即時解答性の高い LINE ライクなグループコミュニケーションアプリ BAND を導入 ③オンライン web セミナーアプリ ZOOM の導入を導入 ④エスキース等の自学自習にオンライン動画講座を導入 ⑤速読技術・反転授業・アクティブラーニング等の新たな方法の導入、です。これにより、個別指導に重点を置きつつ、地方で学校が遠方の受験生や自宅を出られない受験生が自宅でほぼ講習会レベルの講義と添削が受けられるようになりました。

少なくとも製図試験.com の h30 受講生はこの優位性を利用して学習受験が可能となるでしょう。そのため、このテキストは新たに書き起しました。また、資格学校生、他サイト利用者にも参考になるように配慮しました。

製図試験.com 試験攻略 3 つのコンセプト

① 合格力を身につける

合格するための力として、読解力、計画力、作図力、要点作文力が必要であることは、受験生なら全員ご存じだと思いますが、それらを身につけたとしても全く合格できていない現状があります。そこで昨年度までの試験を再度見直し、多くの受講生とディスカッションし、前述の力を**基礎知識力**とし、別途、**課題対話力**、**地頭力**の 2 つの能力開発を加えて、新たに**合格力**としました。

② 学習効率を上げる

受験生はほとんどの方が忙しいばかりです。まとまった時間はなかなか取ることができません。ではどうするのか。学習効率を上げる。これが至上命題です。学習効率とは何か。それは学習の量と質に尽きます。時間効率よく忘却曲線と戦いながら、確実に短期間で質の高い学習を積み上げることです。具体的には、**弱点補強方法の強化と問題点に対する即応性**をいかに挙げるべきかと結論しました。

弱点補強方法として弊社では、エスキースを細分化して徹底的に鍛えるオンライン講座、お互いが教えあえるしくみ化（アクティブラーニング）、問題点に即応するオンライン添削、ZOOM、BAND アプリの導入を行います。

③ ①②をリーズナブルに提供する

ですが、①②について多額の費用をかけて資格学校より高くなっては意味がありません。弊社は自社ビルもなく、営業も事務も雇用していません。その分を全て価格に反映させて運営していこうとしています。資格学校の営業の方からすれば、こんな身軽な運営をされては身も蓋もないのですが、もうそういう時代なのです。できる限りリーズナブルに良質なコンテンツを提供するのが弊社の使命です。

合格力とは何か

3つの合格力

1) 基礎知識力

読解・計画・作図・要点作文能力を基礎知識力としました。資格学校に通われている方には、課題を解くものの、読解ができていますか？計画（エスキース）はできるのか、という全くできていないのに問題を解いているだけという方が多いように思います。基礎知識力がついていないのに一式図を描くのは非常に非効率。図面を描く前にしっかりエスキースプロセスを踏むべきです。製図試験 com では、読解・計画力については、オンライン動画講座で一通りマスターするまでは、原則的に課題を解かないようにすることにしました。

まず徹底的に読解・計画についてたたき上げる。これが製図試験 com の基本です。

2) 課題対話力

さて、基礎知識能力がきちんと身についた方なのに、実際の試験には不合格になる方が確実におられます。これは、問題が意図していること＝問題との対話能力にスキがあるからだと考えられます。製図試験 com では、このスキを埋め合わせていく方法論を模索しています。

ひとつは、問題への即答力、もうひとつは問題への経験値の応用です。このあたりを詰めないことには安定した合格は見込めません。さらに単に問題を解くだけでなく、毎回の振り返り学習が非常に重要になります。

3) 地頭力（じあたまりょく）

製図試験 com がここに言及するにはそれなりの過程がありました。製図試験で基礎知識力があり、課題対話力もそれなりに身につけてきたのに何度も合格できない受験生に地団駄ふんできました。そして様々なテキストや方法論を試みてはノウハウ化してきましたが、h30には、細谷功先生の著作である「地頭力を鍛える」をサブテキストと位置づけ、その中で説かれている「地頭力」こそ、合格に必要な3つめの力としました。（細谷先生にはサブテキストとすることに快諾いただいております）

基礎知識力

エスキースを教えてもらったことはあるでしょうか。製図試験 com では、平成 29 年度「ステップで効力するエスキース」を学芸出版社から刊行しました。設計製図試験用のエスキース(ESTEP®)によって、全ての課題は 13 ステップで解答することができるようになりました。また計画から作図については、パーツ集が非常に有効でパーツ集を中心に学ぶことが重要となります。

合格するための基礎的な知識力は既に方法論的に確立しています。しかし、曖昧な理解になっていないか、繰り返し学習して確実に身につけているのかについては、「社会人なんだから」ということで確認することはあまりしてきませんでした。ですが、本年度は、この部分を動画化・チャート化し、徹底的に学んでいただくことを前提としています。

①読解力 問題文を正確に読み解く力

実は読解の段階で、チェックが抜けている受験生が圧倒的に多いのです。初動ミスは最後まで全体に影響がでます。ESTEP を利用して、確実に読解ミスを減らしつつ、問題文と対話することが求められています。

②計画力 読み解いた問題文からエスキースする力

多くの受験生が「エスキースが苦手」と感じているのではないのでしょうか。その原因は先の読解不足、そしてエスキースのゾーニングとプランニングの混同にあります。またプランニングを早くまとめるには、プランニングパーツを利用する方法が最も効果的であり、その練習が不可欠です。

③作図力 エスキースを作図する力

3 時間で描ききれない受講生の多くは、「手がそもそも遅い、手戻りが多い、工数が多い、手が止まる」の 4 項目のどれかを踏んでいます。その原因を明確にし、かつ乗り越えるための練習が必要です。

④作文力 要点を作文する力

要点の作文については、計画を説明することと理解して暗記することが求められています。説明の仕方、出題されるポイントについて、試験作成サイト JAEIC は解答を公開していないため、独自過去問題集・テキストを作成しています。

上記 4 つの力を身につけるために。

弊社では、「ステップで攻略するエスキース」及びサブテキストを作成すると共に、1 月から 3 月にかけてオンライン動画講座を行います。この動画講座のみを単独で受講することも可能です。オンライン添削生・BMS 塾生は必須となっています。

課題対話力

「問題文という名のクライアントは、何を求めているのか。」弊社では、これが製図試験に求められている受験生の姿だと考えています。

基礎知識力をつけた上で、このクライアントと対話＝問題を解くことが非常に重要になります。資格学校によっては、とにかく多くの課題を解かせる＝多くのクライアントと話をする方法を利用しています。これもひとつの方法なので、資格学校に通われている方は多くの「対話」を試みてください。

ただし、基礎的知識力がないのに一式図 6 時間半トライを何回もやるのはあまりに効率が悪く、かつ前近代的です。必ず弱い不明な部分は、基礎知識力不足として、弱点補強しておくことが肝心です。

課題対話力（課題を解く力）を身につけるために。

弊社では、前半戦は 4 / 5 / 6 月に毎月課題及び 7 月に模試を、h30 課題発表後には、8 月 2 課題、9 月 2 課題の計 4 課題及び 10 月に模試を行います。また h30 は公共施設型課題が出題されると予想されるため、基準階型ではなく、前半戦の課題は全て「コミュニケーションセンター」を取り上げます。

さらに昨年度までの通信添削を大きく改め、課題解説指導に、グループコミュニケーションアプリ BAND と双方向オンラインアプリ ZOOM を導入します。これにより、疑問点に対する即応性、双方向性が担保されると確信しています。

地頭力

「建築すること」を「情報を集め、カテゴリを設定して分類し、使える形でストックすること」と定義している製図試験 com にとって、細谷功先生の「地頭力を鍛える」はうってつけのテキストです。本年度はこのテキストをベースに製図試験に取り組むこととしました。同テキストでは、問題解決のための地頭力を次の 3 点とし、それをどう鍛えるのかを展開しています。

問題解決のための 3 つの思考

①仮想思考 — 「結論から」

現時点の情報だけで最も可能性の高い結論（仮説）を想定し、結論に向かって、精度を上げて検証するアプローチ

②フレームワーク思考 — 「全体から」

課題全体を俯瞰する力と、部分に分解する力から問題点(ボトルネック)を発見するアプローチ

③抽象化思考 — 「単純に」

課題の特徴を「単純化」「モデル化」して捉え、一般化した上で問題解決に当たる思考

地頭力を身につけるために。

まず細谷功先生の「地頭力を鍛える」を読むようにしてください。さらに弊社では、課題を解くことを通じて、常にこの 3 点を意識することを行います。「結局どういうプランになるのか」「全体から照らし合わせたときにその課題はどこがボトルネックになるのか」「それって単純にいうとどういうプランイメージなのか」この 3 点の問いかけを有効活用します。

学習効率化—5つの学習ポイント

製図試験 com では学習効率を上げるために、以下 5 点のポイントを掲げています。

①自己分析の徹底

自己分析なしに学習の効率化はできません。1 月に自己分析課題を行い、他受講生や講師からフィードバックを体験しましょう。製図試験 com では代表的な答案の解説をやっていますが、本年度はオンラインで双方向化したやりとりが可能になります。

②過去問題分析の徹底

自己分析と共に、過去問題分析もやってきたつもりでしたが、全くまだ甘かったと反省しています。単に過去問観た、読んだ、解いたくらいで、過去問分析をしたとは言いがたいのではないかと考えています。そこで h30 は、コミュニティセンター系の雛形課題として、h14、h19 の過去問題を徹底的に取り上げます。全てのリソースは過去問題にあり、h6 からの過去問題も解説していく予定です。ます。

③自己・過去問題分析による弱点補強の徹底

①②での分析を元に、弱点と思われる部分を徹底的にメドがつくまで反復学習し、弱点補強する必要があります。弱点を埋めることこそ製図試験合格への王道です。

④時間の有効利用

昨年度より模試以外で講習会中に 6 時間 30 分の一式図を描くことは時間のムダになるので止めることにしました。反転授業といって、できる限り事前にオンラインで学習し、セミナーではワークからはじめようと考えています。また、製図板の上だけが製図試験勉強スペースではなく、5 分 10 分のスキマ時間を利用することが非常に重要になります。朝晩の通勤時間、昼休み、ちょっとカフェに寄った時間等、細切れの時間であっても学習できるしきみを作りましょう。製図試験 com では、宇都出雅巳先生による速読をベースにした KTK（高速大量回転）学習法を取り入れ、指導してまいります。

⑤互いに教えあう協働学習

互いに教えあうのは効率が悪いのでは？と思う受験生も多いことと思います。ところが記憶への定着、新たな視点での学習、そして何より教えた側が最も深く学習できるのが協働学習です。共に学ぶ友人関係を作り、教え合い高め合える協働を試みていきましょう。

攻略スケジュール

前半戦で確実に基礎知識力と問題対応力をつけて、後半戦に臨むこと。合い言葉は、7 月末までに 80%できあがること。80%とは①エスキース手順の把握、②3 時間作図、③基本パーツ集の習熟の 3 点です。学科組は、学科試験後から 8 月 10 日までが勝負となります。

製図試験攻略スケジュール

ver.17/12/01

項目\日程		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		9月		10月	備考
		前半戦							後半戦					
		基礎知識力			問題対話力				h30問題対話力					
	自己分析課題	○												問題文無料公開
	オンライン合格基礎講座	○			○			○						1/4/7月は同内容（O/L）
	前半戦通信添削3課題				1	2	3							課題配布とオンライン添削あり
	シンクロニ模試							○						6時間30分一式
	オープン課題							○						問題文無料公開
	後半戦通信添削4課題								1	2	3	4		課題配布とオンライン添削あり
	シンクロニ模試												○	6時間30分一式
	ガイダンス	○						○						何でもお答えします
	セミナー（東京・大阪O/L）		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	計10回程度を予定

Cf:製図試験 com 学習アイテム群について

学習アイテム構成

製図試験 com は 6 つの学習アイテム群から構成されています。

A.無料メールマガジン（必須）

無料メールマガジンを全受験生に配信しています。製図試験 com の全ての情報はこのメルマガがスタートラインです。

B.オンライン合格基礎講座

読解、エスキース（ゾーニング・プランニング）、作図、要点の基礎を解説するオンライン講座で単独受講可能。添削生は必須です。

C.通信添削課題教材セット

製図試験 com の全資料とオンラインによる課題解説が受講できる教材セットです。添削をなくしてリーズナブルにしました。

D.オンライン個人添削指導

実際の通信添削課題を使って、ZOOM アプリによる双方向通信により、添削及び個人指導をオンラインで行います。

E.直接指導塾(Basic Method School)

実際の通信添削課題を使って、枚課題毎に講習会を開催し、個人指導します。前半戦 5 回、後半戦 5 回を予定。反転授業、アクティブラーニングも取り入れて、より協働できる学習環境を目指しています。単発のセミナー参加も可能です。直接指導塾 BMS では、開催する全セミナーを含んでいます。

F.その他学習教材

サブテキスト、製図用具等の販売も行っています。

4 つのコースについて

本年度は上記の 6 つの学習アイテムを組み合わせ、次の 4 つの学習コースを策定しています。

学習コース	A	B	C	D	E	対象者
1.基礎知識習得コース	○	○				エスキース手法を中心に基礎知識を身につけたい方
2.課題教材支援コース	○	○	○			資格学校に通っていて添削は不要だが教材が必要な方
3.オンライン個人添削コース	○	○	○	○		オンラインで直接添削指導を受講したい方
4.直接指導塾 BMS コース	○	○	○	○	○	直接指導を受講したい方（東京・大阪）

昨年と異なる特徴としては、これまでの通信添削コースを廃止し、教材のみと、オンライン個人添削指導のあるものに分けたことです。

特に地方の方にとって、オンライン個人添削指導は、非常に強力なコースとなると思われます。

コースは途中でバージョンアップすることが可能ですが、オンライン添削及び BMS には定員がありますので、満席の場合はご了承ください。

Cf: 4つのコースイメージ

4つのコースを含むオンライン個人指導は、h30より始めて導入するコースなので、ちょっとイメージしづらいと思います。下記のようなフローで行うことを予定しています。

1.基礎知識習得コース

1月

- ・ベーステキストには「ステップで攻略するエスキース」を利用しますので、一読をし、不明点はチェックしておきましょう。
- ・自己分析課題を1月5日以降に発送しますので、ステップで攻略するエスキース手順通りに解いてみてください。
- ・できれば、1月末までにエスキース、作図までやってください。送っていただければ随時添削します。

2月・3月

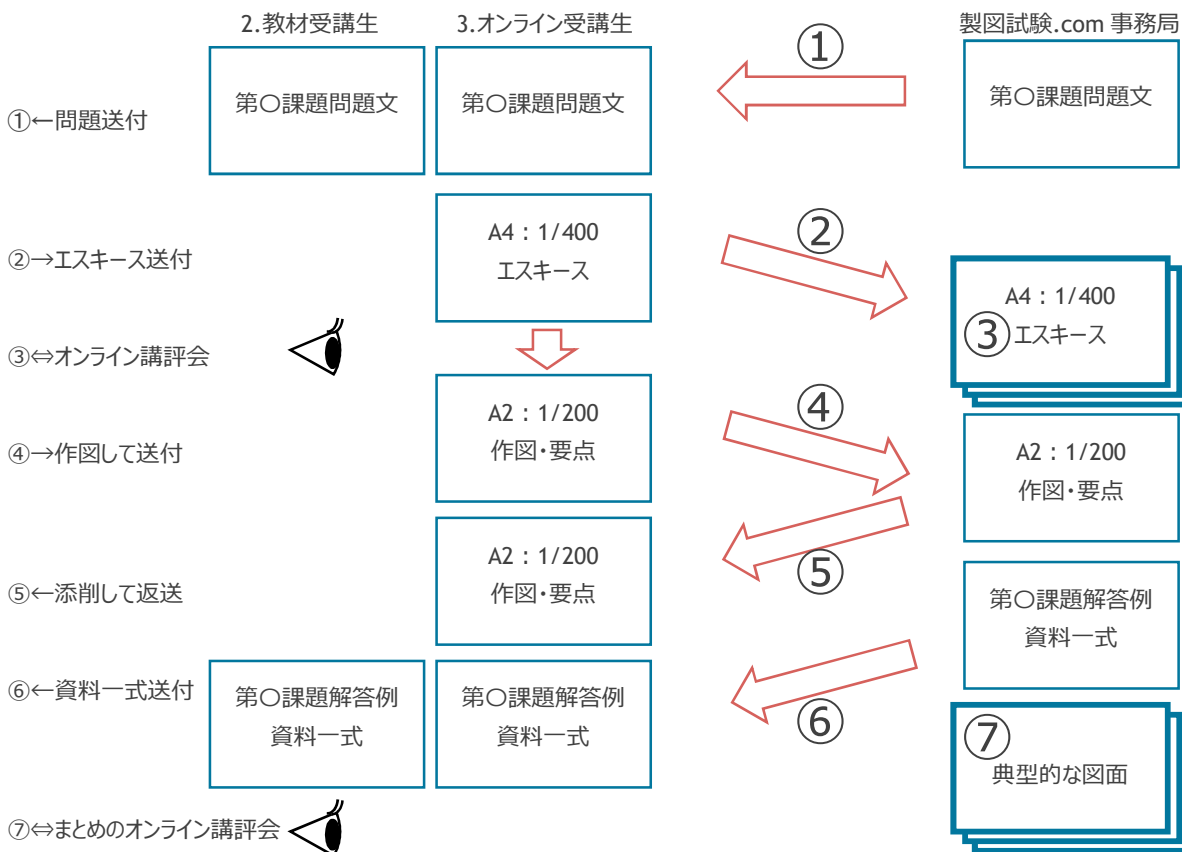
- ・2月5日より動画配信を開始します。動画をご覧になって、その上で小テストを行うという形式をとります。
- ・学習ペースは、BANDを利用します。BANDから事前に日程等を送ります。
- ・8週にわたって、エスキース、作図、要点、構造設備等について、学びます。

1.基礎知識習得コースは、全コースに含まれています。

3.オンライン個人指導コース

4月・5月・6月の3ヶ月はひと月課題を3課題行います。全て「コミュニティセンター」となります。

①月初めに課題を送ります。②それを1/400エスキースしていただき、PDFで送付してください。③それらを集めてエスキース総評会をオンラインで行います。④意見を反映させた上で作図して送付してください。⑤添削したものを返却すると共に、⑥その課題の解答例・解説等資料を送ります。⑦その上でオンラインを使ったまとめを全体講評します。2.教材受講生は全教材とオンライン講評会・BANDを使った質問等ができます。ただし②④⑤⑦のプロセス・個人指導はありません。



4.直接指導塾 BMS コース

東京は日曜日、大阪は水曜日もしくは土曜日に直接指導塾を開催します。製図試験 com の全てのコンテンツを利用することができます。

前半戦の自己分析セミナーを含む月一講習会、後半戦の課題講習会、夏期講習会、直前講習会の全 12 回の全てが含まれています。

日程は、下記の通りの予定です。

平成30年度 講習会・BMS日程予定表

ver.171227

講習	大阪(水)	大阪(土)	東京(日)	備考
1月公開作戦会議	1月17日	1月6日	1月14日	ガイダンス
1月自己分析課題セミナー	1月31日	1月27日	1月28日	体験セミナー
2月講習会	2月14日	2月17日	2月18日	ゾーニングまで
3月講習会	3月14日	3月17日	3月18日	プランニングまで
4月講習会	4月18日	4月21日	4月22日	第1課題変形課題
5月講習会	5月16日	5月19日	5月20日	第2課題変形課題
6月講習会	6月13日	6月16日	6月17日	第3課題変形課題
前半戦シンクロ模試	6月30日		7月1日	模試解説
ライブレクチャー	7月25日	7月28日	7月29日	h30解説
自主勉強会（講師なし）	8月1日	8月4日	8月5日	講師なし
夏期講習会（第1課題）	8月11日		8月12日	第1課題変形課題
夏期講習会（作図）	随時		8月13日	オープン講習会
自主勉強会（講師なし）	8月15日	8月18日	8月19日	
第2課題講習	8月22日	8月25日	8月26日	第2課題変形課題
自主勉強会（講師なし）	8月29日	9月1日	9月2日	
第3課題講習	9月5日	9月8日	9月9日	第3課題変形課題
自主勉強会（講師なし）	9月12日	9月15日	9月16日	
第4課題講習	9月19日	9月22日	9月23日	第4課題変形課題
特別講習	随時	随時	9月24日	弱点補強
後半戦シンクロ模試	9月30日（日）		9月29日(土)	
直前最終講義	9月30日（日）		9月29日(土)	
本試験予定日	10月7日			

<コースアドバイス>

東京・大阪でスクーリング可能な地域にお住まいであれば、資格学校の半額の 4.直接指導塾をオススメします。通えない方、地方の方は 3.オンライン個人指導がオススメです。また他受講生の図面を観て学習するだけでなんとかいける！という方は、2.教材学習だけでも効果があります。そして全てのベースになるのが 1.基礎知識習得コースです。

基礎学習コースを除く、各課題の添削、月々の講習会は、別途費用で単体受講することが可能ですのでご相談ください。後半戦は資格学校に行く予定なので、前半戦のオンライン指導だけ受けたいとか、月一講習会全部は無理だけど、何回かは出席したいとか、です。途中からのコース変更も可能です。あなたが合格するために弊社システムを押しつけないので、是々非々でカスタマイズすることができますので、ご相談ください。

NO	教材・コース	費用	コース生	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8前	8後	9前	9後	10月	1コース	2コース	3コース	4コース	備考
A000Y	自己分析課題＋添削	9,800	含む													●	●	●	●	
A100Y-0	オンライン合格基礎講座	30,000	含む													●	●	●	●	
A201S-1	前半戦課題(3課題+模試)のみ	39,000															●		●	
A301S-1	前半戦課題＋添削個人指導	93,000																●	●	
A202S-1	後半戦課題(4課題+模試)のみ	47,000															●		●	
A302S-1	後半戦課題＋添削個人指導	119,000																●	●	
A401S	直接指導塾前半戦	153,000																	●	
A402S	直接指導塾後半戦	179,000																	●	
A400S	直接指導塾通期	324,000	324,000																●	
E0127	自己分析課題セミナー	3,000	3,000																●	
E0217	2月セミナー	15,000	12,000																●	
E0317	3月セミナー	15,000	12,000																●	
E0421	4月セミナー	15,000	12,000																●	
E0519	5月セミナー	15,000	12,000																●	
E0616	6月セミナー	15,000	12,000																●	
E0630	前半戦模試	15,000	含む																●	
E0811	夏期講習会	18,000	13,000																●	
E0922	9月講習会	15,000	15,000																●	
E0930	直前講習会	5,000	3,000																●	
BCDxxx	その他テキスト等学習教材	通年	通年																●	
■コースと教材の関係性																1コース	2コース	3コース	4コース	備考
□1.基礎知識習得コースは、自己分析課題＋オンライン合格基礎講座です。																前半戦	39,800	39,800	39,800	
□2.教材支援コースは、1.基礎知識習得コース+前半戦3課題・模試＋後半戦4課題・模試＋テキストです。																	39,000	93,000	153,000	
□3.オンライン個人指導コースは、2にオンライン図面添削及び個人指導があるものでこれがメイン教材です。																後半戦	47,000	119,000	179,000	
□4.直接指導塾BMSは、東京・大阪において直接セミナー10回分＋全ての教材を含めたコースです。																通期	425,800	251,800	371,800	
□通期でお申込いただけると通期割があります。前半戦のあと、後半戦を加える場合は通期割を適用します。																通期割	108,000	224,000	324,000	

平成30年度製図試験.com学習教材一覧表

平成30年1月18 日現在

学習教材	内容	期間	価格(税込)	コース生価格
A-4つのコース：製図試験.comがおススメする合格のためのコースです。				
A000Y	自己分析課題添削	課題：「コンセプトルームのあるコミュニティセンター」	1月	9,800円 含む
A100Y	1.基礎知識習得コース	A000Y+動画・テストを含むエスキース学習コース	1-3月	39,800円 含む
A200S	2.課題教材支援コース（通期）	A100Y+前後半10課題等	1-10月	108,000円 125,800円 通期割
A201S	2.課題教材支援コース（前期）	A100Y+前半4課題等	1-7月	78,800円
A300S	3.オンライン個人指導コース（通期）	A100Y+前後半10課題添削指導	1-10月	224,000円 251,800円 通期割
A301S	3.オンライン個人指導コース（前期）	A100Y+前半4課題添削指導	1-7月	132,800円
A400S	4.直接指導塾BMSコース	A100Y+直接指導塾	1-10月	324,000円 371,800円 通期割
B-エスキース系：製図試験.com（学科製図.com含む）のエスキーステキスト				
B100Y	ステップで攻略するエスキース	h29学芸出版社刊	既刊	3,000円 含む
B101Y	エスキースアプローチ	h17学芸出版社刊	既刊	2,500円 2,000円
B102Y	わかるエスキース	h19学芸出版社刊	既刊	2,800円 2,200円
B103S	エスキースアプローチ+わかるエスキース	2冊セット価格で販売します。	既刊	4,000円 4,000円
B104Y	エスキースFAQ復刻版	エスキースの質問を解説。コピー製本による復刻版	既刊	1,800円 1,200円
B200Y	h30課題分析帖+h30パーツ集	h30課題を徹底分析したテキスト	8月他	6,000円 含む
C-製図作画系：製図テキストから道具まで				
C100S	用紙セット（10枚+10枚）	作図用紙・エスキース用紙あります。	通年	1,800円 1,500円
C101Y	鉄腕作図テキスト+DVD	作図テキスト+DVD	既刊	3,500円 3,000円
C111Y～	テンプレート/シャープペン/他	h20学芸出版社刊	通年	HP参照
D-経験値系：合格ドキュメント/再現図面集他				
D100Y	エマージェンシーマニュアル復刻版	h13/h14本試験体験記。コピー製本復刻版	既刊	1,500円 1,300円
D290S	h29再現図面集（予定）	h29再現図面+ドキュメント	3月	3,000円 2,500円
E-講習会・模試				
E000Z	月一講習会（東京・大阪）	前半戦月1回の製図試験対策セミナーです。	1-7月	15,000円 12,000円
E801Z	夏期講習会	平成30年度課題の解説	8月他	18,000円 13,000円
E990Z	直前講習会	試験1週間前の直前講習会です。	10月	5,000円 3,000円
E701Z	シンクロ模試	前半戦のまとめ及び本試験1週間前に行います。	7月/10月	各15,000円 含む
F-その他				
F001Y～	領収書・修了書他書類関連	コースのみ分割支払いも可能です。	通年	- 0円
FAXでのお申込（020-4665-1911）		申込者氏名		
振込先：有限会社I.L.D.		住所		
ジャパンネット銀行すずめ支店(普)3175127		電話番号		

必須図書

「ステップで攻略するエスキース」 山口 達也 学芸出版社

製図試験用エスキースを13ステップで解説。これ以上でもこれ以下でもなく、エスキースの方法論は全てこの1冊で攻略できます。

オンライン動画講座はこのテキストをベースに行います。



推薦図書

「地頭力を鍛える 問題解決に活かす「フェルミ推定」」 細谷 功 東洋経済新報社

3つめの学習軸である「地頭力」はこのテキストから参考をしています。

一級建築士取得後も必ず役に立つテキストです。



「仕事のミスが絶対なくなる頭の使い方」 宇都出 雅巳 クロスメディア・パブリッシング

高速大量回転法の提唱者で山口の速読述の師匠でもある宇都出先生の快著。

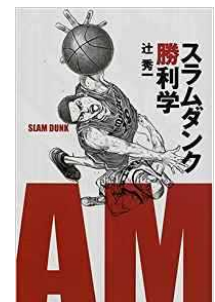
これ1冊で合格する人も出てくるミスをなくすためのノウハウテキストです。



「スラムダンク勝利学」 辻 秀一 集英社インターナショナル

スポーツメンタルをスラムダンクから読み解いた好著。

辻先生は何冊かありますが、スラムダンクを読んだ方はこのテキストが一番読みやすいと思います。



製図試験 com インフォメーション

名 称：製図試験 com

(<http://seizushiken.com>)

運 営：有限会社 I.L.D.

連絡先：〒554-0012

大阪市此花区西九条 2-7-8 田丸ビル 3 階

電話 06-7181-3701 FAX 020-4665-1911

メール：guchi@seizushiken.com

銀 行：ジャパンネット銀行すずめ支店

普) 3175127 ユ) アイエルディ

郵便振替：00970-2-222802 ユ) アイエルディ

関連サイト：

FB <http://facebook.com/seizushiken/>

ツイッター <http://twitter.com/seizushiken/>

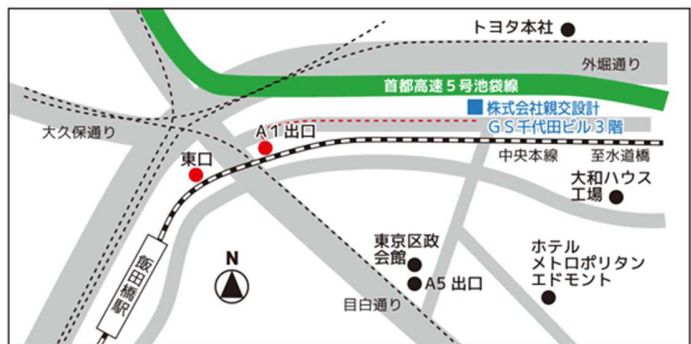


東京講習会場：

親交セミナールーム

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋 3-11-14 GS 千代田ビル 3 階



JR 中央本線飯田橋駅東口より徒歩 5 分

東京メトロ飯田橋駅 A5 出口もしくは A1 出口より徒歩 4 分



主宰：山口 達也（ハンドルネーム：曾根 徹）

1962 年 11 月 26 日生

大阪工業大学建築学科都市計画研究室

神戸大学環境計画学専攻、工学修士（早川和男研究室）

阪神電鉄就職後、レンゾピアノビルディングワークショップに転職。

都市計画コンサルタント、経営コンサルタント、CM 会社等を経て、

有限会社 I.L.D. を設立。セルフビルディング中心に設計活動の傍ら、

2000 年に「学科製図.com」を設立。

17 年間で 2,600 名以上の一級建築士を輩出。

2015 年コンテンツをまとめなおし、「製図試験.com」を立ち上げ。

一級建築士設計製図試験だけに特化したしくみを開始。

業界初のオンライン添削・ZOOM ウェビナーを開始。

2018 年より学科試験.com も同時に主宰。

このマニュアルは 2017/01/18 現在のものです。

コンテンツの無断利用は固く禁じます。

Copyright © 製図試験.com All rights reserved.